

平成 18 年度 事業報告

1 理事会

5月12日(金)午後3時より、都庁第一本庁舎特別会議室Cにおいて開催。

2 講演会・総会

6月30日(金)午後2時30分より、都立工芸高等学校視聴覚教室において開催。

講演 演題 「ものづくりと私の人生」
ものづくりに対する“夢”と“誇り”を語る—
講師 (有)辻谷工業社長 辻谷 政久 氏

3 委員会

- (1) 会誌編集委員会 8月10日(木)都庁第二本庁舎 第三会議室で開催。
- (2) 作文選考委員会 10月26日(木)都庁第二本庁舎 第二・第三会議室で開催。
- (3) 事業企画委員会 3月13日(火)都庁第二本庁舎 教育委員会室で開催。

4 振興奨励事業

- (1) 中学校技術・家庭科教育功労者(7名)、専修学校からの産業教育功労者(2名)並びに賜金記念産業教育功労者(13名)の表彰式を、11月21日(火)都庁第二本庁舎教育委員会室において挙行了。本会より表彰状の授与と記念品贈呈を行い、式終了後、記念撮影をして散会した。
- (2) 産業教育関係の研究団体に対する奨励助成として、農業、工業、商業、家庭、定時制・通信制、中学校技術・家庭科の各研究会に対し、資料作成など研究活動費の一部を助成した。
- (3) 中学生、高校生、専修学校生に対する作文募集を行い、応募総数は256点であった。その中から最優秀賞4名(中学校1名、高校2名、専修学校1名)、優秀賞8名(中学校5名、高校2名、専修学校1名)、佳作45名(中学31名、高校12名、専修学校2名)の入賞者を決定し、12月15日(金)に都庁都議会棟 都民ホールにおいて表彰式を行い、賞状と賞品を授与した。また、入賞を逸した応募者全員に記念品を贈呈した。
- (4) 優良卒業生に対し、各学校の校長を通じ、本会会長並びに産業教育振興中央会会長の表彰状の交付及び授与を行った。

本会会長の表彰

中学校	846名	高等学校	253名		
専修学校	39名	高専・短大	16名	計	1,154名

産業教育振興中央会会長の表彰

高等学校及び高等専門学校		計	132名
--------------	--	---	------

5 産学交流事業

- (1) 産学懇談会：11月18日(土)東京都立科学技術高等学校において、「東京都高等学校工業科生徒研究成果発表会」並びに「中学校創造ものづくりフェア in Tokyo」を見学した後、校長室において産業界と教育界(学校・行政)との情報交換会を実施した。
- (2) 見学・研修会：12月7日(木)王子製紙(株)総合研究所において、「先端技術に学ぶ」のテーマで企業見学会を実施した。施設見学終了後、製紙技術研究所長の北尾 修氏、主席研究員の小高 功氏から「最新の製紙加工技術について」の講義を聴き、研修を深めた。

6 情報連絡事業

- (1) 会報「東京の産業と教育」を年3回発行、第127号を7月10日、第128号を11月10日、第129号を2月1日に発行し、会員及び関係諸機関に配布した。
- (2) 会誌「東京の産業教育」第44号を2月28日に発行し、会員及び関係諸機関に配布した。
- (3) 生徒作文集「明日に生きる」第17号は入選作品57編を掲載して、2月28日に発行し、会員及び関係諸機関に配布した。
- (4) 産業教育振興中央会主催の「産業実地研修会」は、毎年、夏季休業期間に関係機関、研究所及び企業等において実施されているが、本会よりの参加者はなかった。
- (5) 産業教育振興中央会の実施する「産業教育改善に関する特別研究助成」には、今年度は応募者がいなかった。
- (6) 文部科学省・産業教育振興中央会ほか主催の第16回全国産業教育フェア(埼玉大会)が11月10日～11月12日、さいたまスーパーアリーナを中心に開催され、本会より会長、副会長、事務局長、事務局担当者の4名が出席した。
全国産業教育振興連絡会議・振興大会は、5月26日(東京)と11月11日(埼玉)の2回開催され、本会より会長、副会長、事務局長の3名が出席、その他多数の会員が出席した。
- (7) 関東地区産業教育振興連絡協議会は、11月2日(木)山梨県甲府市で開催され、本会より教育庁指導部主任指導主事および事務局長の2名が出席した。

7 会員の増加運動の推進

学校会員9校(私立中学校：1校、都立高校：6校、都立高専：1校、専修学校：1校)が新規に加入した。